

今日の1冊

【内容】

瀬戸内海の小さな島、牙島。朱里、衣花、源樹、新の四人は島に高校がないため、フェリーで本土に通う。未婚の母の涙、アイターン青年の後悔、そして自らの淡い恋心……。十七歳、ともに過ごす最後の季節を描く。

島はぼくらと

辻村 深月 著



【著者紹介】

辻村深月（つじむら・みずき）
一九八〇年生まれ。千葉大学教育学部卒業。二〇〇四年『冷たい校舎の時は止まる』でメフィスト賞を受賞しデビュー。『ツナグ』で吉川英治文学新人賞、『鍵のない夢を見る』で直木三十五賞受賞。